

平成30年度

6月例会

会議所塾

～ここまで活用できるんだ！

商工会議所～

日時:6月28日(木曜日)19時00分

～21時00分

場所:岡崎商工会議所大ホール

担当委員会:創生委員会

参加者数:会員117名、事務局16名



【例会内容】

6月例会は「ここまで活用できるんだ！商工会議所」ということで、知っているようで知らない商工会議所の活用方法について学びました。青年部には入会していても親会である商工会議所を活用したことがない、どのような制度があるか知らないというメンバーも多く、もっと商工会議所を活用して自社事業の発展に繋げよう、という目的で行いました。

今回の例会では、岡崎商工会議所の実行部隊である事務局職員の皆様16名に参加していただきました。また商工会議所の活用方法の概要が掲載されているパンフレットについても、この例会に合わせて刷新していただきました。

まずは岡崎商工会議所専務理事の山中賢一様に、商工会議所の歴史や概要などをお話いただきました。素晴らしい資料を作成していただき、非常に分かりやすいお話でした。次に今回ご参加いただく事務局職員の皆様をご紹介します。岡崎商工会議所を組織する4部署について各部の代表者の方に説明していただきました。さらに青年部メンバーの(有)オプト・ヨシカワヤの平岩哲朗君と日本レトルトフーズ(株)の神谷直久君に、商工会議所の活用事例についてお話いただきました。そして今回の例会のメインであります「商工会議所活用会議」に入りました。青年部のメンバーを10のグループに分けて輪になり、参加いただいた事務局職員の皆様に各グループに入ってもらい、事業を行う上で直面する「人材確保・育成、資金繰り、販路拡大」という課題について、商工会議所の制度を使ってどのように解決できるか話し合いました。途中、「もぐもぐタイム」というアイスブレイクタイムを設け、おやつを食べながら事務局職員の皆様とより身近な距離感で話し合いました。もぐもぐタイムを挟んで2度の商工会議所活用会議を行い、1グループにつき2つの課題を取り扱いました。

商工会議所の制度について知る機会はなかなかなく、参加したメンバーは積極的に質問や意見を言って、どのグループも盛り上がりおりました。自社事業の発展につながる、非常に良い例会になりました。



【委員長所感】 創生委員会 近藤委員長

とにかく自社事業の発展に繋がる例会にしたいという思いがありました。そこで思いついたのが、青年部メンバーは商工会議所を活用できているのか、ということでした。そこで岡崎商工会議所の事務局職員様に相談したところ、事務局側としても多くの若手経営者に商工会議所の制度を知ってもらう機会はなかなかないので、ぜひ協力させてほしい、と快諾いただきました。こうして、6月例会は商工会議所の活用方法を学ぶ例会に決まりました。

例会当日のメインである「商工会議所活用会議」が、どれくらい盛り上がるか、正直不安もありました。しかし、いざ始めてみると、どのグループも非常に盛り上がり、質問が絶えませんでした。途中のもぐもぐタイムでは名刺交換が積極的に行われていました。きっと参加されたメンバーに有益な情報が数多くあったと感じております。

この例会を通して、商工会議所の活用方法を知っていただき、1人でも多くのメンバーが実際に商工会議所を活用していただき、自社事業の発展に繋げてもらえたら幸いです。